

OITA BANK

Mini Disclosure

九重にひたるおとなのめぐり旅
ゆるり湯にゆく夢のひととせ

第218期 営業の中間ご報告
(2023年4月1日～2023年9月30日)



感動を、シェアしたい。
大分銀行

感動を、シェアしたい。

ごあいさつ

皆さま方には、平素より大分銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

弊行は2023年2月1日に創立130周年を迎えました。1893年(明治26年)の創立以来130年に亘り、当地にて地域の金融機関として営業を継続し、確固たる基盤を築くことができましたのも、ひとえに皆さま方の温かいご支援とご協力のたまものと深く感謝申し上げます。

さて、国内経済は観光需要の回復など景気の改善傾向が見られる一方で、不安定な国際情勢や円安の進行などによる原材料価格の高騰や金融市場における長期金利の上昇、さらには2023年上半期の企業倒産が全産業において前年同期比で増加するなど、先行きの不透明感が強い状況です。地域経済においては、人口減少や少子高齢化による労働力不足など社会構造上の問題に起因する課題が多岐に亘っており、弊行が地域金融機関として果たすべき役割は非常に大きいものと認識しております。

2023年度は、弊行が掲げる長期ビジョン「地域の持続可能性を高める価値創造カンパニー」の実現に向けた「中期経営計画2021」の最終年度です。これまで「未来を見据えた変革への挑戦～地域の未来を創る新たなサービス・価値の創造を目指して～」を基本テーマとして、基本戦略「地域特性を踏まえた金融・非金融サービスの提供」とビジョン戦略「SDGsを羅針盤とした新たなビジネスモデルへの挑戦」の2軸において諸施策を展開してまいりました。

現在その施策の一つとして、各自治体・団体・企業等と連携して地域の持続的な成長をめざす「地域ビジョン」の取り組みを進めています。この取り組みは、弊行が各自治体と連携して、各地域における影響力が高い産業を特定のうえ、地域産業の「域外から稼ぐ力の増強」と「域内資金循環の活性化」の実現を図るものです。すでに「地域ビジョン」の概要を公表した自治体においては、協議会などを組成し具体的なプロジェクトについての検討を開始しており、今後県内全域で取り組みを展開・深化していく予定です。

弊行は引き続き経営理念「地域社会の繁栄に貢献するため銀行業務を通じ最善をつくす」のもと、持続可能な地域社会の実現を通じて企業価値の向上に努めてまいります。

皆さま方におかれましては、弊行の取り組みに対しまして、今後もなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

取締役頭取 後藤 富一郎



当行プロフィール(2023年9月30日現在)

本店	大分市府内町3丁目4番1号	従業員数	1,525名
創立	1893年(明治26年)2月1日		※出向者及び嘱託、臨時職員を含んでおりません。
資本金	195億9,843万2,500円	主要勘定	預金等残高 3兆6,094億円
店舗数	93カ店(本支店・出張所)左記のほか 香港駐在員事務所、東京事務所		貸出金残高 2兆1,256億円
CD・ATM 設置台数	333台 (うち店舗外127台)		有価証券残高 1兆3,494億円

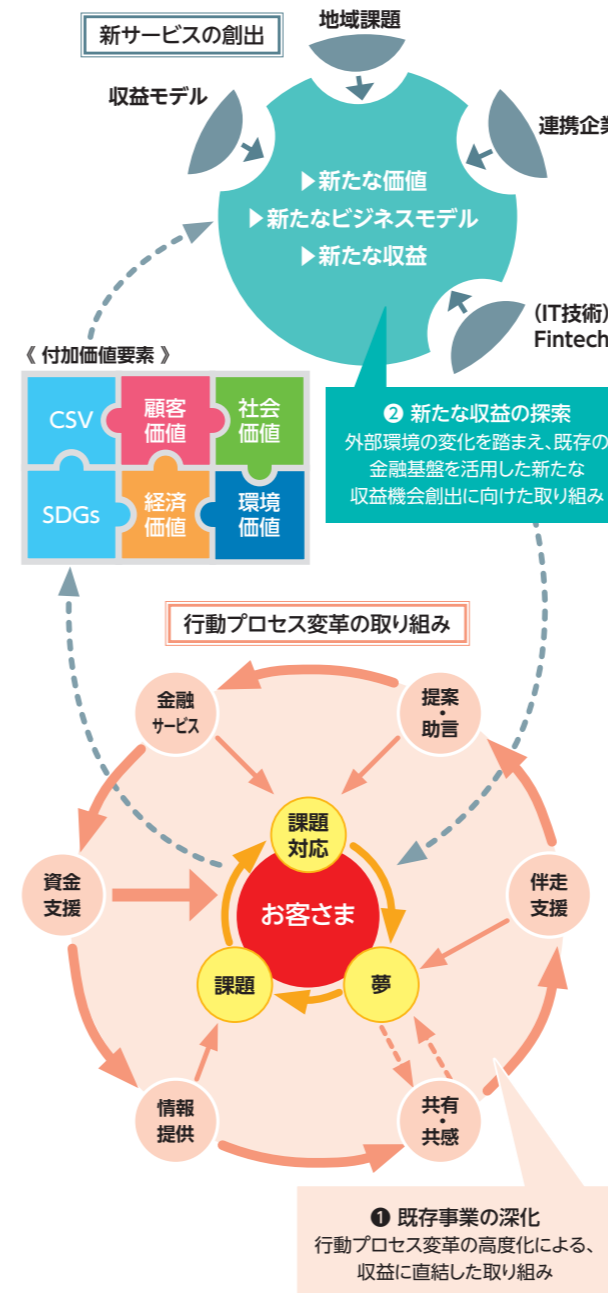
長期ビジョンと中期経営計画2021

長期ビジョン

地域の持続可能性を高める価値創造カンパニー

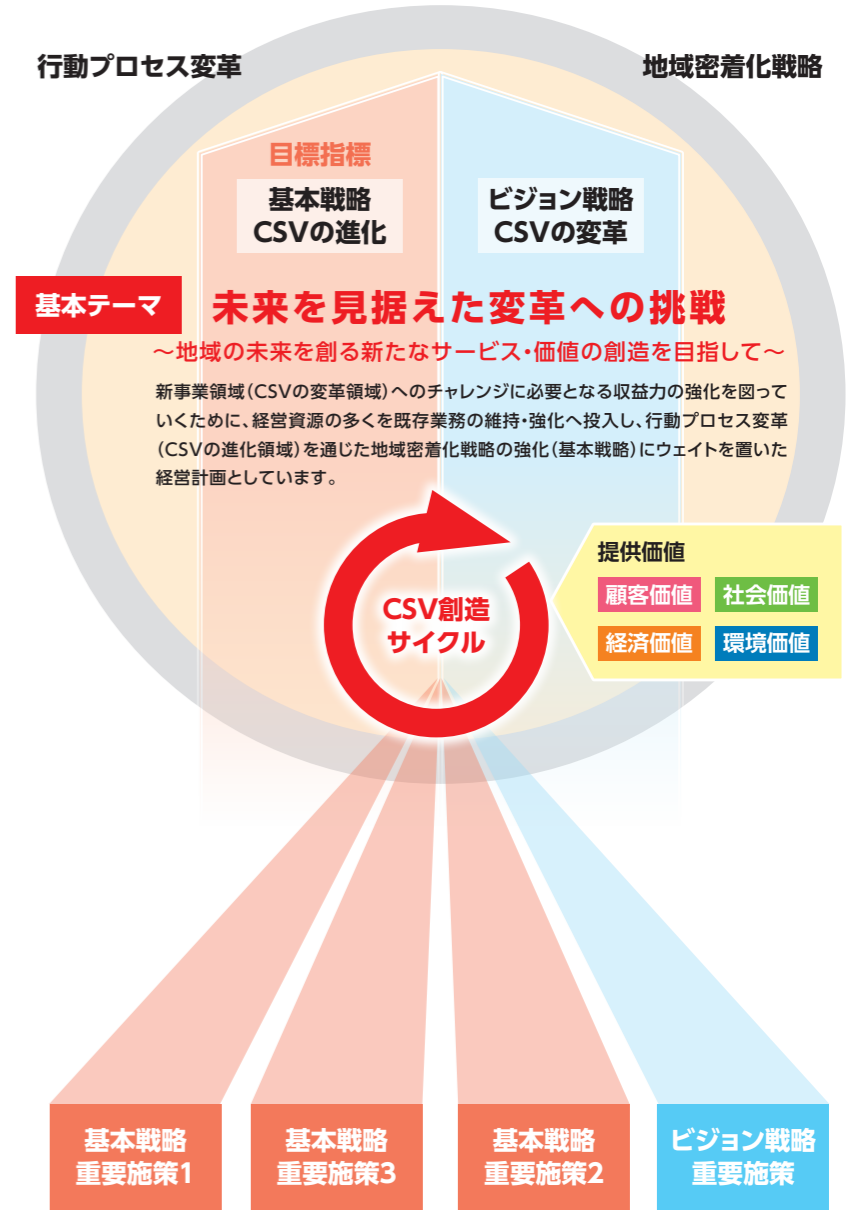
既存事業の深化と新たな収益の探索による 両利き経営

中期経営計画2021では既存事業の深化に比重を置きつつ新たな収益への探索の取り組みを進める



中期経営計画2021(3年)

長期ビジョン実現に向けた今後3年の
アクションプラン



重要施策

地域特性を踏まえた金融・非金融サービス※の提供

基本戦略

- 重要施策1 行動プロセス変革による地域密着型金融の発揮
- 重要施策2 地域課題を解決する非金融サービス収益の向上
- 重要施策3 生産性向上による一人あたり収益性の拡大

ビジョン戦略

SDGsを羅針盤とした新たなビジネスモデルへの挑戦

- 金融の枠組みを超えたビジネスモデルの構築
- 「専門人材の育成」と「個々の能力を発揮できる組織の構築」

※非金融サービスの定義 主要な金融業(銀行・証券・保険)に分類されないサービス 例:コンサルティング、M&A、ビジネスマッチング、人材紹介、等

「地域ビジョンプロジェクト」が本格始動！



What's 地域ビジョン?

地域活性化や地域産業振興など地域の課題解決・地域の持続的な成長に向けて、大分銀行が各自治体・団体・企業等と連携してその実現を目指す取り組みです。地域への影響力が高い産業等に対し、2つのプロジェクトを推進します。



プロジェクトI 地域内資金循環の活性化 ~資金の域外流失を最小化

act./01

お客さまアンケートを通じた「域外流出情報のリアルデータ化」

act./02

情報の分析・共有

act./03

個別プロジェクトの立案・実行

プロジェクトII 稼ぐ力の増強 ~地域資源の活用を最大化

顧客利便性の向上

顧客への認知度向上

顧客体験価値の向上

インフラ整備による生産性向上

プロモーション力の強化

etc...

これまでに取り組みを開始した地域 (2023年10月末日時点)

別府市 2023年3月15日開始

テーマ: 儲かる別府
支援産業: 観光産業 (宿泊・レジャー・飲食ほか)

稼ぐ力の増強策(企画案)

- ・宿泊/レジャー施設・飲食店の連携強化、電子クーポン導入
- ・別府市公式宿泊予約サイト活用強化支援事業
- ・デジタル通貨導入支援事業
- ・SNSハッシュタグキャンペーン特典提供事業者の募集
- ・別府観光の4本柱、新湯治・ウェルネスツーリズムの推進
- ・別府周遊プランの開発(オプションルツアー)
- ・大型客船の誘致から始める大型イベントで稼ぐ仕組みづくり
- ・「ふるさと納税返礼品」ラインナップ・PR強化事業

玖珠町 2023年7月31日開始

テーマ: サステナブルな玖珠町
支援産業: 木材関連産業・観光 (林業・製材・木製品製造ほか)

稼ぐ力の増強策(企画案)

- ・デジタル商品券・デジタル通貨導入プロジェクト(加盟店の増加)
- ・キャンプ場・観光施設のプレミアムとして、デジタルクーポン導入(サブスク・温泉券)
- ・間伐材の活用(薪・チップ)、推進策として地域クーポン活用
- ・SNS等を活用した地域の魅力発信
- ・「玖珠町のキャンプ場 聖地プロジェクト」農場や食品関連事業者と連携し、旬な食材をキャンプ場で提供⇒地産地消
- ・森林を活用した「巨大アスレチックパーク」
- ・ワーケーションの推進強化、Wi-Fi環境整備・PR
- ・木材関連産業の付加価値向上、雇用拡大・住宅補助金充実、バイオマス発電/クレジット活用

佐伯市 2023年8月7日開始

テーマ: 豊かな佐伯
支援産業: 食料品産業(食+水産業)+林業

稼ぐ力の増強策(企画案)

- ・中心市街地の再活性化プロジェクト + 中心部居住拠点への機能性追加+グリーンズローモビリティの導入
- ・海産物の域外輸出プロジェクト
- ・葛港再開発プロジェクト
- ・滞在時間延長・ナイトタイムエコノミー・グリーンゾーン・憩いの広場化
- ・山林保全プロジェクト
- ・高齢樹木・未利用間伐材の資源化・担い手の確保・収益性・事業性確保

国東市 2023年9月29日開始

テーマ: 未来につながる悠久の里 国東市
支援産業: 食料品産業(食+農業+観光)

稼ぐ力の増強策(企画案)

- ・国東市アプリの活用・発展、観光DX化
- ・農業リソースの共有
- ・地域電子通貨
- ・放牧事業、スマート農業
- ・くにさきブランド認証
- ・七島間の産業、文化、伝統の継承
- ・関係人口活性化
- ・大分空港ランウェイウォーク
- ・サイクル、ロングトレイルを活用した周遊観光

豊後大野市 2023年10月12日開始

テーマ: 食で繋げる豊後大野市
支援産業: 食料品関連産業(食+農業+観光)

稼ぐ力の増強策(企画案)

- ・サウナ施設、アウトドア施設、宿泊施設の整備と強化
- ・スポーツコミッション支援
- ・cocomioと連携した創業支援
- ・不動産流動化、商店街活性化
- ・デジタル通貨、電子クーポン、エリア共通ポイント事業
- ・里の旅公社、ツーリズム推進協議会、いいサウナ研究所と連携したプロモーション
- ・ふるさと納税返礼品ラインナップ・PR強化
- ・農産加工品等の海外輸出
- ・6次産業化による高付加価値化、地域産品を生かした商品開発
- ・ジオ起点の周遊プラン、スポーツツーリズム推進

宇佐市 2023年10月23日開始

テーマ: 儲かる産業を興すまちUSA
支援産業: 食料品関連産業(食品+農業→観光振興へ)

稼ぐ力の増強策(企画案)

- ・補助金の個別事業計画策定の伴走支援
- ・参拝客、観光客の増加に繋がる施策のハード面・ソフト面のサポート
- ・酒類産地としてのブランド化、県内宿泊施設等とのマッチング
- ・酒蔵ツーリズムの検討・推進
- ・スマート農業の推進
- ・グリーンツーリズムの推進
- ・農業人材の確保
- ・一次産品を活用した商品開発販路開拓

由布市 2023年10月30日開始

テーマ: サステナブルな由布市観光
支援産業: 観光産業・食品(宿泊・レジャー・飲食ほか)

稼ぐ力の増強策(企画案)

- ・由布市民安心PJ(デジタル地域通貨導入研究)
- ・滞在型保養温泉地の魅力UP、観光DX活用研究
- ・FAMトリップ・インフルエンサー活用PJ
- ・また来たくなる由布院PJ(由布院の語り部/人財育成)
- ・由布市まるごと食べちゃおうPJ(由布院・庄内・挾間をつなぐストーリー)

大分県全域で 続々開始予定!

“地産地消”や“事業領域の拡大・新事業への参入(第二創業)・新産業創出”など、地域の持続可能性向上に寄与する取り組みを地域と連携して実践・支援していきます。



高原を巡る大人の泊り旅

九重町

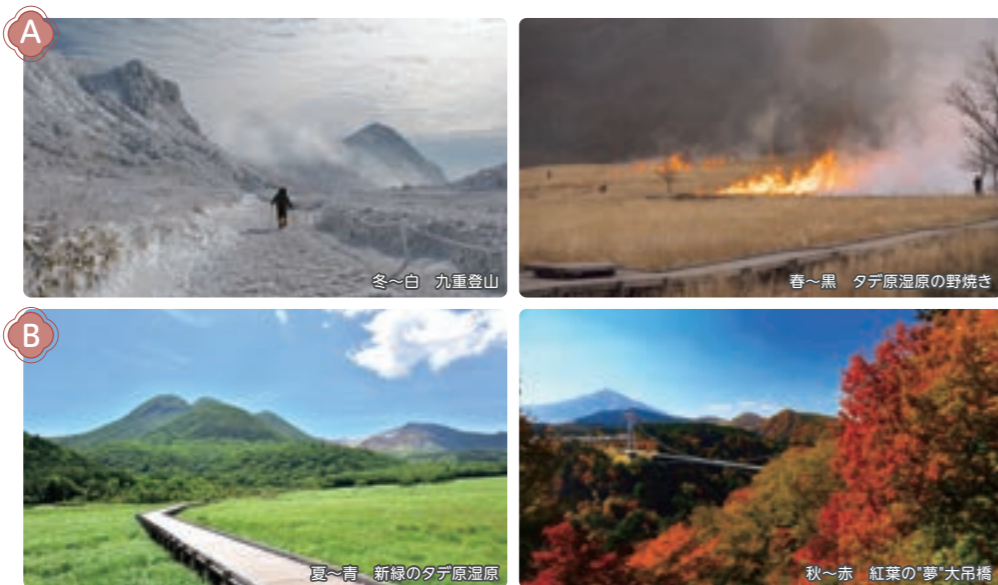
冬は白、春は黒、夏は青、秋は赤——九重町では季節の移ろいを告げる彩りに乗り、ゆったりと時が流れていきます。童心に還って思いっきり遊ぶもよし、頑張った体を湯で癒やすもよし、いつかの夢に向かって思いを巡らせるもよし。悠久の大地でじぶん時間に浸ってみませんか。



色の移ろいを
全身で愉しむ

山遊び

冬はスキー、春は野焼き、夏はトレッキング、秋は紅葉狩り。はるかなる九重の山々へ、心のままに繰り出そう。



1日目 8:00

九重の味で ひと息どうぞ お食事



牛肉、米、野菜、椎茸——自家生産の食材と地元の天然水をふんだんに使用した『顔の見える農家レストラン』。晴れた日は、眼下を一望できる絶景のテラス席でペットと一緒に召し上がれ。

住 〒879-4911 玖珠郡九重町大字田野2407-1
電 0973-79-3110
HP <https://www.eaglefarm.net/bebenko>

頑張った体を 湯で癒す うたせ湯



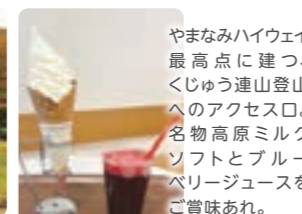
うたせ湯のほか、露天風呂「岩湯」と檜の内湯「薬師湯」がある。⇒P7参照
住 〒879-4912 玖珠郡九重町湯坪 筋湯温泉
電 0973-73-5505 (九重町観光協会)
HP <http://sujyu-onsen.com/>

山で存分に遊んだら、1000年の名湯「筋湯温泉」へ。筋湯のシンボル「うたせ大浴場」で頑張った体をじっくりリフレッシュ。

九重登山の玄関口 牧ノ戸峠レストハウス



住 〒879-4911 玖珠郡九重町牧ノ戸峠 牧ノ戸峠レストハウス
電 0973-79-2042



やまなみハイウェイ 最高点に建つ、くじゅう連山登山へのアクセス口。名物高原ミルクソフトとブルーベリージュースをご賞味あれ。

寒の地獄温泉 寒の地獄旅館



冷泉ファンの“熱い”声にこたえて、霊泉「寒の地獄」がついに通年営業開始！同時オープン「暖の地獄サウナ」と「温泉交互浴」で自律神経ととのう、昭和レトロの純和風旅館。

住 〒879-4911 玖珠郡九重町田野257番地
電 0973-79-2124 HP <http://kannojigoku.jp/>

EVENT

極寒蔵開き

創業160年の蔵元が行う厳冬の蔵開きは九重の冬の風物詩。毎年1月下旬開催。



八鹿酒造株式会社
住 〒879-4692
玖珠郡九重町大字右田3364番地
電 0973-76-2888
HP <https://www.yatsushika.com/>



九酔溪温泉 溪谷の宿 二匹の鬼



紅葉の名所九酔溪に建つ。温泉は源泉かけ流し。女性料理長のもてなすお膳は絶品。

住 〒879-4911 玖珠郡九重町田野947-5
電 0973-79-2144
HP <https://kyusukei.com/nihikinoon/>

活火山九重連山の随所に湧出する温泉群、九重“夢”温泉郷。忙しい日常を離れ、しつとりとプライベートを味わう。

“夢”温泉郷で
大人の安息

止宿

17:00

標高777メートルにかかる大吊橋は、九酔溪の深谷美を一望する「天空の散歩道」。



九重“夢”大吊橋

くじゅう野の花の郷



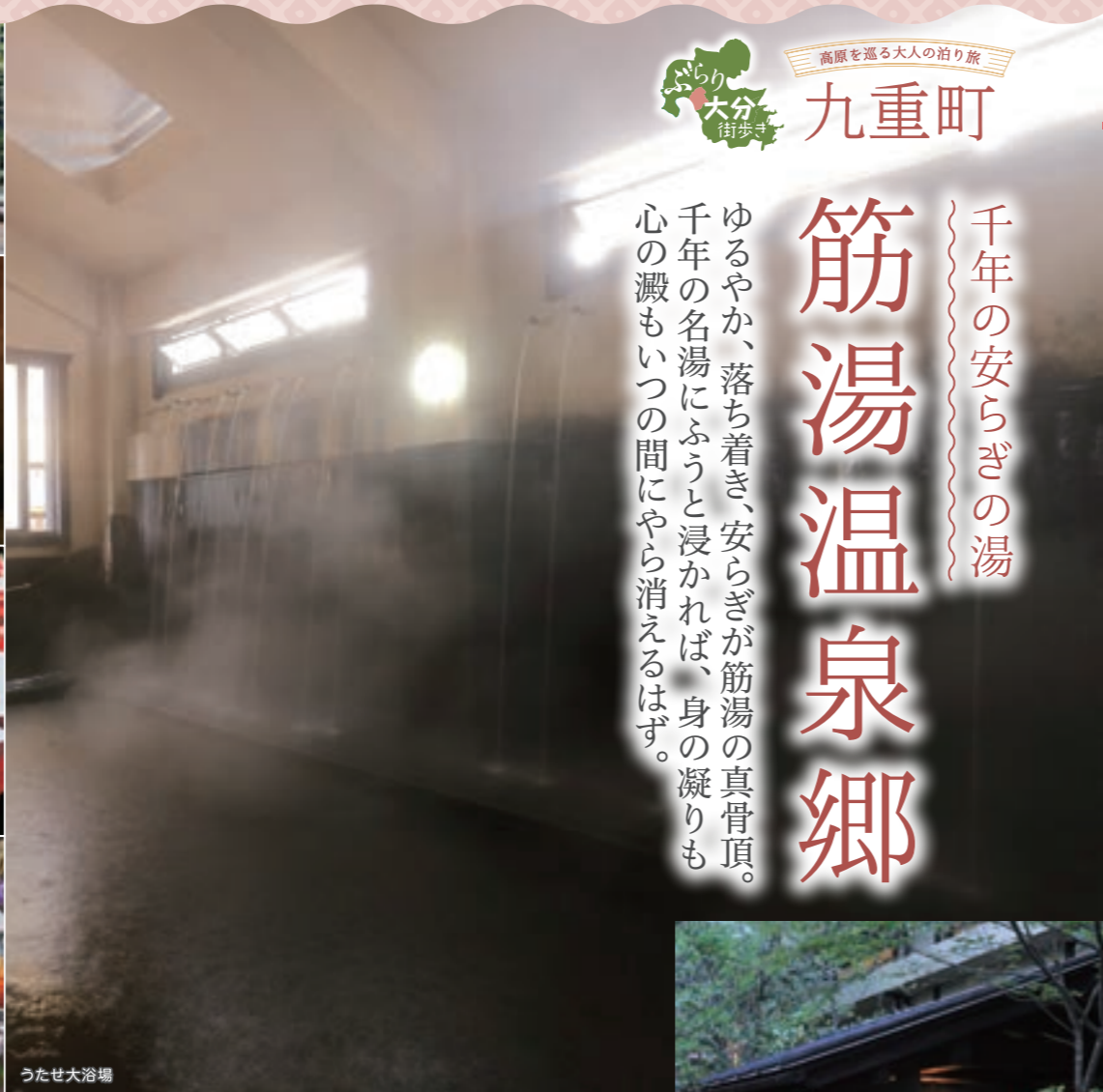
屈指の溪谷に
思索を拓げる

散策

鳥のさえずりを遠くで聴きながら、旅路の思い出にしばしまどろむ朝。締めくくりは九重の絶景で。

阿蘇くじゅうの希少植物を楽しめる野草園。郷土料理や豊後牛を味わえるレストラン併設。

住 〒879-4911 玖珠郡九重町大字田野1672-18
電 0973-79-3375
HP <https://nonohananosato.jp/index.php>



高原を巡る大人の泊り旅
大分 街歩き
九重町

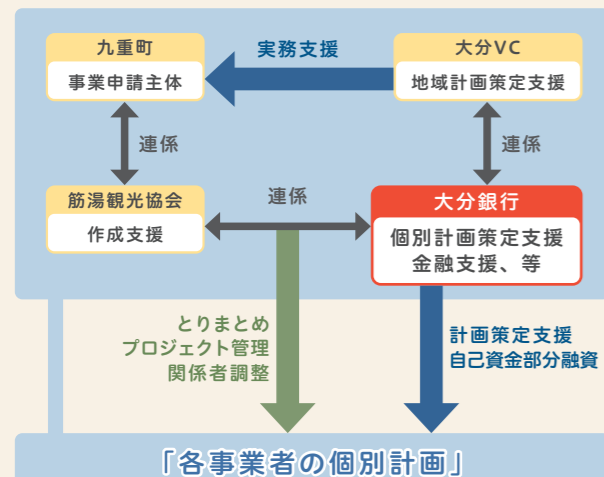
千年の安らぎの湯
筋湯温泉郷
ゆるやか、落ち着き、安らぎが筋湯の真骨頂。
千年の名湯にふうと浸かれば、身の凝りも
心の澱もいつの間にか消えるはず。

筋湯温泉から飯田高原を変える

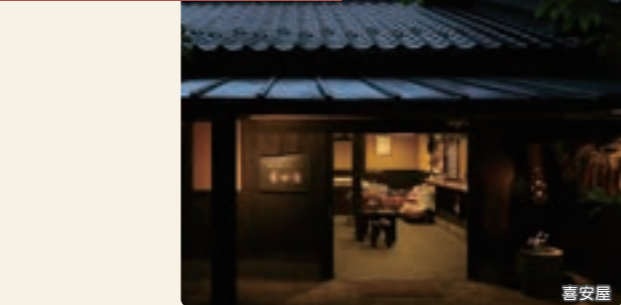
大分銀行と地域の皆さま一体での活性化の取り組み、はじまる

1000年の歴史を誇る筋湯温泉。しかし、明治・昭和と二度に渡る大火を経験。苦難の末、筋湯はエリアの中心的温泉郷となりました。2023年、大分銀行は筋湯温泉街および飯田高原の皆さまと一緒に地域の活性化に取り組んでいます。

プロジェクト実施体制



プロジェクトの内容



- ①施設の拡張・更新、バリアフリー化、ワーケーション対応など、高付加価値化で滞在価値を高める。
- ②歴史ある温泉街らしい和の街並みに統一し、街歩きが楽しめる景観を創出する。

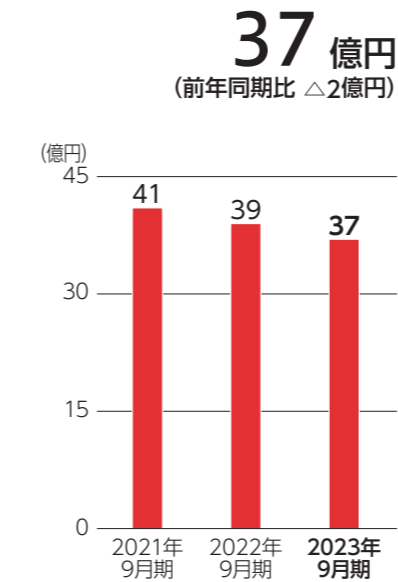
業績ハイライト (中間決算のご報告と業績予想)

2023年9月期の経常収益は、貸出金利息及び株式等売却益が増加したものの、国債等債券売却益が減少したことにより減少しました。また経常費用は、国債等債券売却損の減少により減少しました。この結果、経常利益は前年同期比2億円減少しました。中間純利益は、経常利益及び特別利益の減少等により、前年同期比4億円減少しました。

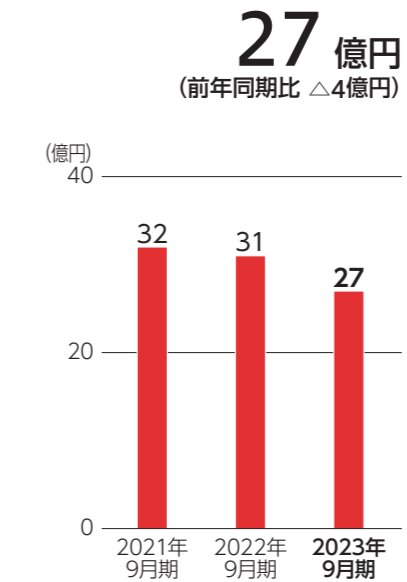
2023年度の業績につきましては、経常収益569億円、経常利益70億円、当期純利益46億円を予想しております。なお、業績予想の前提として、日経平均株価を29,000円～36,000円、与信費用を△5億円と見込んでおります。

主要な指標の推移

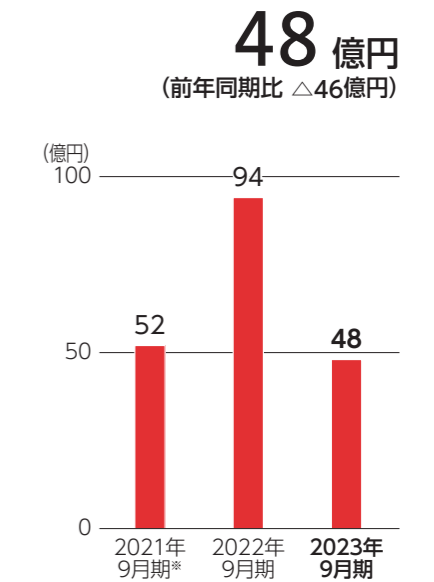
■ 経常利益



■ 中間純利益

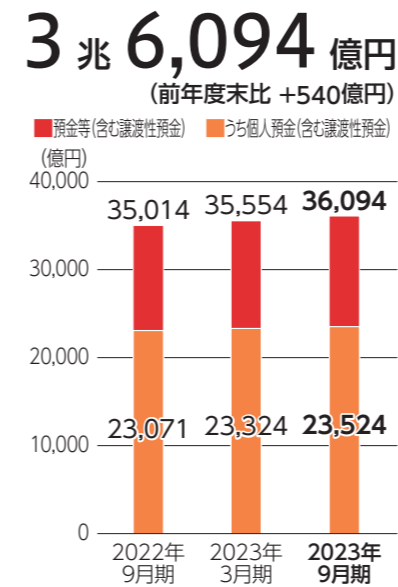


■ コア業務純益

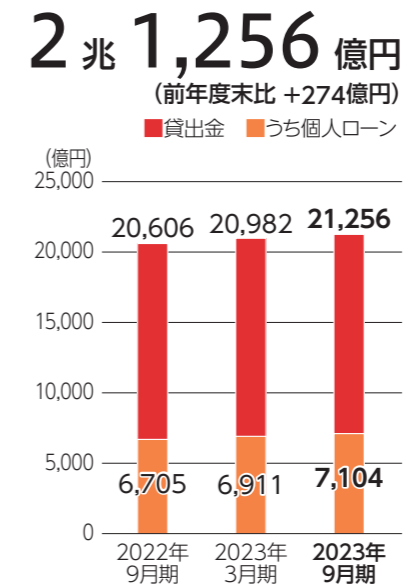


※2022年度より表示方法の変更を行っており、2021年9月期は組替え後の計数を記載しております。

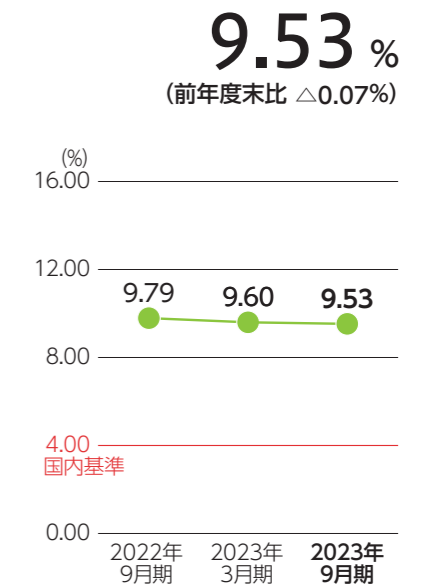
■ 預金等



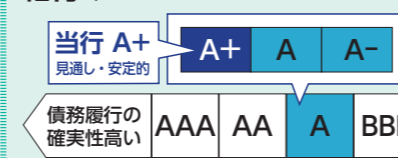
■ 貸出金



■ 自己資本比率



格付け



当行は、2000年9月29日付で日本格付研究所(JCR)の長期優先債務格付「A+ (債務履行の確実性は高い)」を取得し、その後も格付「A+」を継続取得しています。

※長期優先債務格付
長期優先債務格付とは、具体的な債券を特定せず、その銀行が現在背負っている無担保の債務または将来背負うであろう不特定の無担保債務を包括的に捉えて、債務履行能力を格付したものです。

中間(連結)財務諸表

中間連結貸借対照表 (単位: 百万円)
(2023年9月30日現在)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
現金預け金	866,761	預金	3,468,450
コールローン及び買入手形	2,991	譲渡性預金	126,576
買入金銭債権	2,850	売現先勘定	59,623
金銭の信託	3,991	債券貸借取引受入担保金	122,240
有価証券	1,345,364	借入金	423,559
貸出金	2,118,645	外国為替	57
外国為替	3,983	その他負債	41,230
リース債権及びリース投資資産	15,917	賞与引当金	1,129
その他資産	65,891	退職給付に係る負債	6,739
有形固定資産	29,979	役員退職慰労引当金	28
無形固定資産	608	睡眠預金払戻損失引当金	910
退職給付に係る資産	8,967	繰延税金負債	3
繰延税金資産	8,557	再評価に係る繰延税金負債	4,067
支払承諾見返	9,371	支払承諾	9,371
貸倒引当金	△25,633	負債の部合計	4,263,988
資産の部合計	4,458,247	純資産の部	
		資本金	19,598
		資本剰余金	13,768
		利益剰余金	154,133
		自己株式	△1,996
		株主資本合計	185,503
		その他有価証券評価差額金	1,113
		繰延ヘッジ損益	△220
		土地再評価差額金	8,115
		退職給付に係る調整累計額	△573
		その他の包括利益累計額合計	8,434
		新株予約権	254
		非支配株主持分	66
		純資産の部合計	194,258
		負債及び純資産の部合計	4,458,247

中間貸借対照表 (単位: 百万円)
(2023年9月30日現在)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
現金預け金	865,489	預金	3,478,431
コールローン	2,991	譲渡性預金	130,976
買入金銭債権	2,850	売現先勘定	59,623
金銭の信託	3,991	債券貸借取引受入担保金	122,240
有価証券	1,349,483	借入金	418,009
貸出金	2,125,601	外国為替	57
外国為替	3,983	その他負債	31,774
その他資産	53,977	未払法人税等	554
その他の資産	53,977	リース債務	242
有形固定資産	29,073	資産除去債務	385
無形固定資産	496	その他の負債	30,592
前払年金費用	9,517	賞与引当金	1,059
繰延税金資産	7,309	退職給付引当金	6,179
支払承諾見返	9,369	睡眠預金払戻損失引当金	910
貸倒引当金	△22,869	再評価に係る繰延税金負債	4,067
資産の部合計	4,441,266	支払承諾	9,369
		負債の部合計	4,262,700
		純資産の部	
		資本金	19,598
		資本剰余金	10,582
		資本準備金	10,582
		利益剰余金	141,235
		利益準備金	10,431
		その他利益剰余金	130,804
		固定資産圧縮積立金	84
		別途積立金	126,330
		繰越利益剰余金	4,390
		自己株式	△1,996
		株主資本合計	169,419
		その他有価証券評価差額金	997
		繰延ヘッジ損益	△220
		土地再評価差額金	8,115
		評価・換算差額等合計	8,891
		新株予約権	254
		純資産の部合計	178,565
		負債及び純資産の部合計	4,441,266

中間連結損益計算書 (単位: 百万円)
(2023年4月1日から2023年9月30日まで)

科目	金額
経常収益	37,331
資金運用収益	21,771
(うち貸出金利息)	12,010
(うち有価証券利息配当金)	9,478
役務取引等収益	4,707
その他業務収益	6,409
その他経常収益	4,442
経常費用	32,919
資金調達費用	2,016
(うち預金利息)	113
役務取引等費用	1,068
その他業務費用	15,147
営業経費	14,255
その他経常費用	431
経常利益	4,411
特別利益	8
固定資産処分益	8
特別損失	49
固定資産処分損	49
税金等調整前中間純利益	4,371
法人税、住民税及び事業税	1,130
法人税等調整額	30
法人税等合計	1,160
中間純利益	3,211
非支配株主に帰属する中間純利益	0
親会社株主に帰属する中間純利益	3,210

中間損益計算書 (単位: 百万円)
(2023年4月1日から2023年9月30日まで)

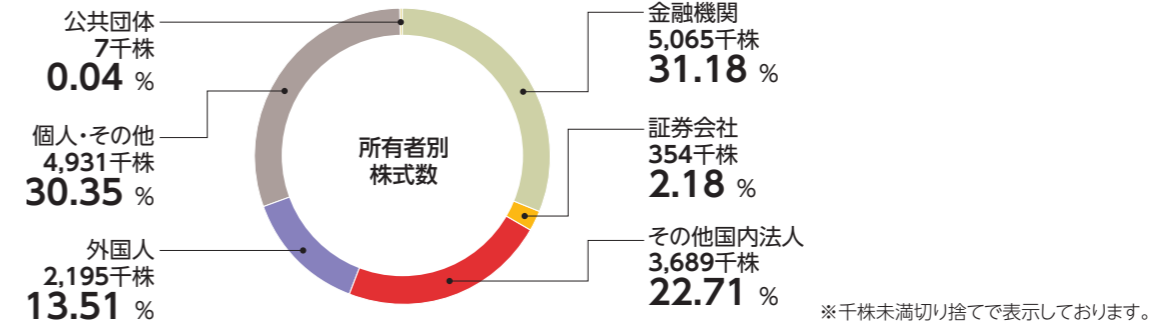
科目	金額
経常収益	31,768
資金運用収益	21,215
(うち貸出金利息)	11,451
(うち有価証券利息配当金)	9,481
役務取引等収益	4,263
その他業務収益	1,783
その他経常収益	4,506
経常費用	28,025
資金調達費用	2,004
(うち預金利息)	113
役務取引等費用	1,068
その他業務費用	11,038
営業経費	13,495
その他経常費用	417
経常利益	3,743
特別利益	8
特別損失	48
税引前中間純利益	3,703
法人税、住民税及び事業税	907
法人税等調整額	26
法人税等合計	933
中間純利益	2,769

株主の皆さまへ

株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行済株式総数 **16,243千株**
株主数 **7,476名**

株式分布状況



株式についてのご案内

- **事業年度**
毎年4月1日から翌年3月31日までといたします。
- **定時株主総会**
毎決算日の翌日から3ヵ月以内に開催いたします。
- **剰余金の配当および中間配当**
剰余金の配当は毎年3月31日現在の株主名簿に記載された株主または登録株式質権者に対し、定時株主総会終了後お支払いいたします。中間配当を行う場合は、取締役会の決議によって、毎年9月30日現在の株主名簿に記載された株主または登録株式質権者に対し、お支払いいたします。
なお、お取引の金融機関預金口座振込をご指定くださいますとお取りが速くて便利です。
- **定時株主総会の基準日**
毎年3月31日といたします。
その他必要があるときはあらかじめ公告いたします。
- **公告方法**
電子公告により行います。
当行ホームページアドレス
https://www.oitabank.co.jp/kabunushi/koukoku/koukoku_d/
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、大分合同新聞および日本経済新聞に掲載いたします。
- **株主名簿管理人**
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社
- **同事務取扱場所**
福岡県福岡市中央区天神二丁目14番2号
日本証券代行株式会社 福岡支店
(郵便物送付先/お問合せ先)
〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
電話 0120-707-843(フリーダイヤル)
- **各種手続のお申出先**
・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。



「SDGs宣言書 活動報告会」で発表する大分高校の生徒

8月21日、大分銀行日岡支店内の
「SDGs宣言書 活動報告会」が開かれた。
この日報告をしたのは大分高校
生徒会の生徒20名。当日参加した
関係者らを中心に、「自然環境・生物
多様性の保全」「人権の尊重」「シ
ェンツナ社会づくり」地域への

大分銀行がプロジェクト企画・支援

高校生地元企業と挑む「SDGs宣言」

貢献」の4つのテーマについて、大分
高校生徒会の取り組みをまとめた
「SDGs宣言」を発表した。
プロジェクトを企画支援したのは
大分銀行だ。5月、大分高校に
「SDGs宣言書作成事業を提案し、
学校教育の一環として取り組む
ことが決まった。
同行はプロジェクトの実施に
あたり「SDGs宣言」策定を支援

した地元企業に参加を呼びかけ、
これに3社が応じた。
生徒たちは4つのグループに分かれ
参加企業を訪問して「SDGs宣言」の
策定目的やプロセス、効果などを
ヒアリング。それをもとに、生徒の
目線から大分高校の「SDGs宣言」を
まとめていった。
さらに、地元企業3社のうち1社
とは、企業のSDGs課題や目標を

一緒に考え、「SDGs宣言」の策定
にも関わった。報告会ではその
内容も発表した。

同行担当者は、地元企業のSDGs
への取り組みを高校生に知って
もらうことがプロジェクトの目的
であり、それを通じて、地域社会に
貢献する実践的な取り組みを進めて
もらいたかったと話す。
大分銀行では、今後も地域のサステ
ナビリティ向上を目指し、SDGsへの
取り組みを強化していく。

大分銀行と中・南九州3行 地域コンソーシアムを形成

9月5日、大分銀行は、肥後銀行、
宮崎銀行、鹿児島銀行および環境省
九州地方環境事務所をメンバーとする
「中・南九州地域コンソーシアム」を
形成した。

地域のニーズや資源を生かした
地域づくりの脱炭素化、民間投資の
促進を通じてGXの社会実装を
後押しすることを目的とする。

今後、コンソーシアムが構想した
脱炭素事業に対し、資金ニーズの調査
脱炭素事業組成のための事業の検証
等を通じて、脱炭素投資案件の
形成を支援していく。

脱炭素×森の未来づくり

9月4日「ビジカム」でセミナー開催

大分銀行は、脱炭素への
取り組みや持続可能な
事業運営を検討する
事業者向けのセミナーを
開催した。

「地球沸騰化」と言わ
れる近年、大企業を
中心に、サプライチェーン
全体での脱炭素の取り
組みが本格化している。
地域企業にとっても、
対応の遅れは、今後死活
問題となりかねない。

講師の田島大輔さん

(田島山業株式会社＝
日田市)は、「森林由来」の
J-クレジットを活用
することで、攻めのカー
ボンニュートラルが
実現可能と説く。

また、J-クレジット
制度では、クレジットの
創られた地域が分かる
ため、購入した企業は
地域の森林保全に資する
事業活動を支援して
いくことになる。

▶田島山業株式会社
林業を中心に、森林の空間活用、ツアー催行など、
ユニークな事業を展開。大分銀行主催「だいぎん
ニュービジネスプランター」(2023年度)特別賞受賞。

2023年12月号

発行所 株式会社 大分銀行
総合企画部広報・SDGsグループ
(電)097-534-1111

今号のSDGs



【3-4面】

地域内資金循環の
活性化 × 稼ぐ力の
増強
で持続可能な
地域づくりに貢献
大分銀行の
「地域ビジョンプロジェクト」が
本格始動!



大分銀行創立130周年記念事業

旅するコンサート

2023年12月9日(土) 14:00開演 (開場13:00~)

中津文化会館大ホール 全席自由:無料 (チケット必要)

お問合せは大分銀行地域創造部社会貢献グループまでご連絡ください。097-538-7765 (平日10:00~17:00)



原則毎月第2、第3水曜日 11:30~12:15
大分銀行ウェンズデイコンサート 開催中!
詳しくは: <https://www.oitabank.co.jp/topics/>

